



# 第4回 都医学研 シンポジウム

家族・当事者・精神科医の  
『トライアスロン』をやって、  
思うこと

演者 **夏苺 郁子**

やきつべの径診療所  
児童精神科医

家族としての体験から  
学んだことと、  
精神医療保健福祉に  
望むこと

演者 **中村 ユキ** 漫画家



当事者として自己を見つめる。  
そして、仲間の存在

演者 **松本ハウス** お笑い芸人  
(ハウス加賀谷・松本キック)

日時

2014年

**11月14日(金)** (12:00 開場)  
12:25~16:05

場所

**津田ホール** JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅前  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24

参加

定員 **490名** 入場無料・先着順(事前申込制)

申込方法

Eメール又は往復ハガキによる事前申込制です。  
申込方法の詳細につきましては、以下のURLを御覧ください。  
<http://www.igakuken.or.jp/event/sympo/sympo04.html>  
なお、お申し込みは先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ

(公財)東京都医学総合研究所 普及広報係  
住所 〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6

TEL 03-5316-3109  
E-Mail [symp@igakuken.or.jp](mailto:symp@igakuken.or.jp)

家族と当事者から  
みた

精神科医療  
・精神医学

シンポジウム座長  
**伊藤 順一郎**

(独)国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 社会復帰研究部 部長

演題

4 精神科医として、  
研究者として、  
子供として

演者 **糸川 昌成**

(公財)東京都医学総合研究所  
参事研究員

